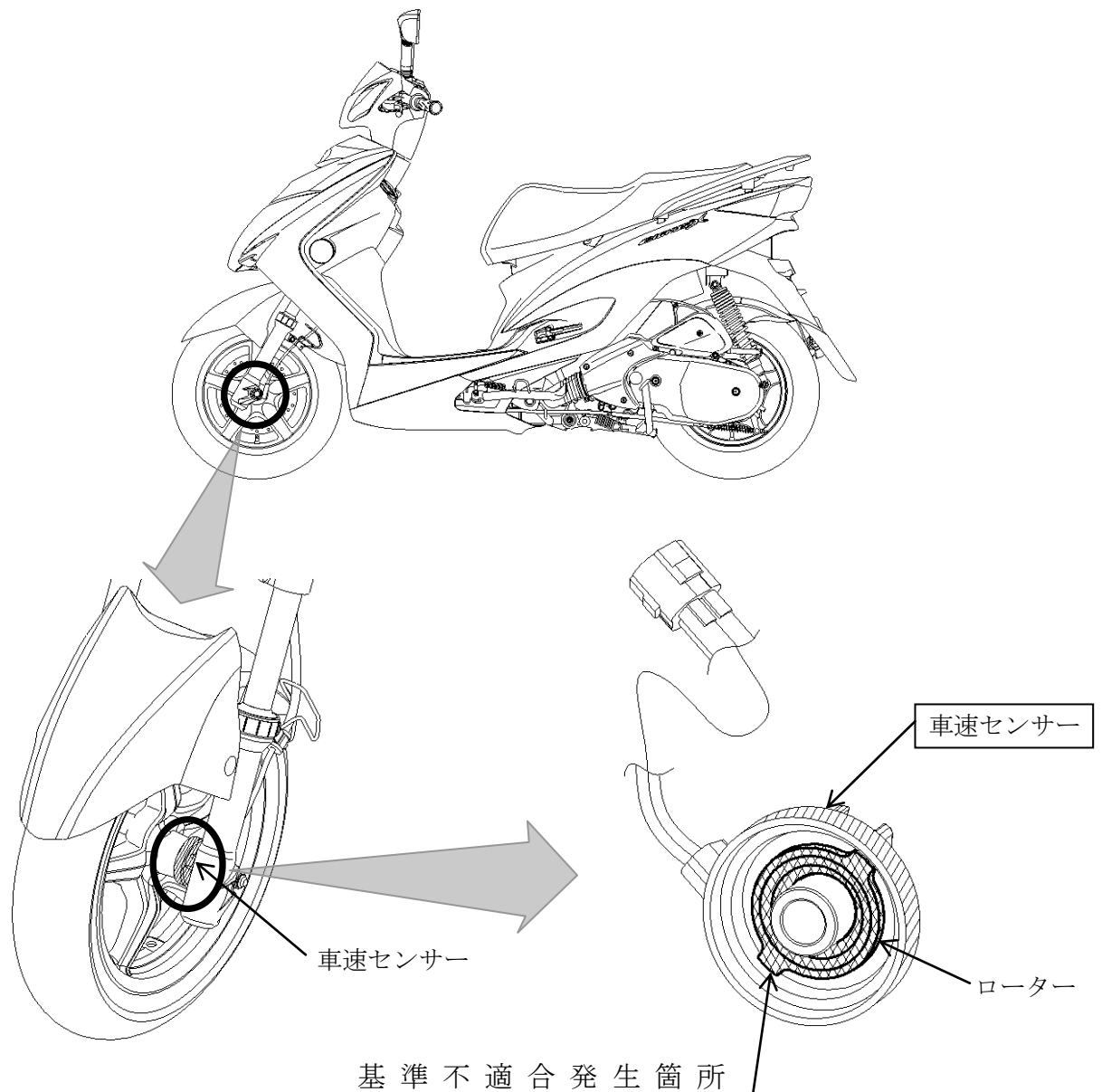


改善箇所説明図②



前輪車軸部に装着されている車速センサーの構造が不適切なため、走行時にローターが傾くことにより内径摺動部の潤滑用グリスが押し出され、不足することがある。そのため、ローターが回転するときの摺動抵抗が増大し、ローター爪部に過大な負荷がかかり、そのまま使用を続けると、最悪の場合、ローター爪部が破損し速度計が作動しなくなるおそれがある。

改善の内容：全車両、車速センサーを対策品に交換する。

識別：サイドスタンド取り付け部付近に白ペイントを塗布する。

注： は交換部品を示す。